

**東京都立大学附属高等学校同窓会**  
**2023(令和5)年度上期「理事・監事・評議員会議」議事録**

日時 2023年7月1日(土) 14時～15時30分  
場所 桜修館 A棟 1階「視聴覚室」

**議案1 2022(令和4)年度事業報告(2022年4月1日～2023年3月31日)**

以下の報告の内、①②③④⑥については、前回の2022年度下期「理事・監事・評議員会議」で報告されており、また本年の同窓会報にも詳細が掲載されておりますので、一部追加のみの報告とします。

- ① 会報の発行(2022年6月30日発行)
- ② 第74回記念祭(9月10日、11日)
- ③ 第10回「八雲が丘賞」(表彰式10月21日)
- ④ 定期総会(10月23日)
- ⑤ 八雲が丘学友会

2022年5月14日、10月8日、2023年1月28日の3回開催。桜修館同窓会、桜修館、桜修館PTAと情報交換を行った。

- ⑥ 第6回「八雲が丘ホームカミングデー」(11月27日)
- ⑦ 会議

**議案2 2022年度会計決算報告、ならびに会計監査報告**

(会報15ページ参照)

- 出費を抑えるのと同時に会費収入を増やす必要がある。キャッシュレスなら払うという意見もあり、LINE Pay、PayPayなどで納入してもらおう案もありそうだ。自動振り替えは、法人でないと難しいか。(現在、同窓会は任意団体)
- 昨年度会報の表の誤りを訂正

**議案3 2023年度の活動計画**

- ① 同窓会報の発行

3月26日(日)拡大編集委員会

4月25日(火)会報制作関係者会議(奥村印刷、木下デザイン、同窓会編集委員)

6月30日2023年度版発行 A4版16ページ・オールカラー 印刷部数9,000部

発送部数 国内会員 約7,950部 特別会員(恩師) 約150部

海外在住会員 75部

桜修館教職員・PTA・生徒に250部、桜修館同窓会に50部、配布予定

- ② 名簿の管理(2023年6月25日現在)

○住所不明者の増加は抑えられてきている。会報受取拒否者には、会報のメリットを説明してほしい。

○ベネズエラ以外は海外にも送れるようになっている。

会員総数 14,350名

住所判明者 7, 942名

(海外在住75名、会報受取拒否78名、特別会員との重複2名含む)

死亡 843名、住所不明5, 565名

特別会員(恩師) 296名 住所判明149名、死亡74名、住所不明73名

○特別会員(恩師)は、非常勤の先生をどこまで拾えるかが問題。

③ 第75回記念祭への参加、出展計画

同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展。3校の歴史年表掲出、資料写真の展示、校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌のDVD 終日放映、同合唱イベントを4年ぶりに実施。

④ 同窓会合唱サークルの創設

○事務の管理は誰がやるのかが問題。

○PTAの合唱サークルと交互に教室を使うなどの調整が必要。

○旧音楽智識研究会メンバーに働きかける。

会報で告知したように、同窓会合唱サークルの参加者を募集、勧誘し、定期的に練習を開始する。指導は佐藤文行氏(17期生・二期会会員)。練習会場は、桜修館校内を予定している。

⑤ 第11回「八雲が丘賞」

桜修館より候補として、「陸上競技部」の推薦を受けた。この理事会で決定したい。

○文化部に光を当てたいという意見もあったが、文化部は既に全部の部に賞が授与されている。

⑥ 第7回「八雲が丘ホームカミングデー」の開催

○なんとか懇親会のできる会場を探したい。

第23期、48期が対象。桜修館第2期の参加も期待したいが、前回の第1期の参加が少数だったこともふまえて、再度桜修館同窓会と検討する。

桜修館多目的ホールで記念式典、校内見学の後外部のレストランで懇親会を行う。

開催日については、10月21日(土)、11月11日(土)、11月18日(土)のいずれかで桜修館と交渉、協議中。

⑦ 八雲が丘文庫

文庫収蔵本であることを明示するため、寄贈本に貼付するステッカーを、木下デザインに発注。早急に、改めて体制整備について桜修館と打ち合わせを行う。

⑧ 今後の会議などの予定

5月13日(土) 会計監査(既実施)

7月1日(土) 2023年度上期「理事・監事・評議員会議」

7月1日(土) 八雲が丘学友会

9月8日(金) 記念祭準備

9月9日(土)10日(日) 第75回記念祭

9月11日(月) 記念祭閉祭式、第11回「八雲が丘賞」表彰式

10月下旬または11月上旬 第7回「八雲が丘ホームカミングデー」

議案4 2023年度予算(案)

(別紙)

- 会費は、当初30,000円の終身会費と5,000円の3年会費でスタートし、その後2016年から2,000円の年会費一本になった。切り替え後の4年間で3百万ほどの赤字を計上したが、その後収支均衡している。
- なんとかか会費納入者を現在の1,300人から1,500人に増やしたい。

## 議案5 その他

- ① 旧制府立高等学校創立100周年(2029年)記念事業について  
100周年記念事業委員会の立ち上げ  
記念講演、100周年記念文集、記念物制作、記念式典など検討
  - 文集づくりや勉強会の記録などが残っているのでこれらをまとめる。
  - 記念事業基金を100周年記念事業費として集める必要がある。
  - 全体の管理、責任の所在、は学校となるのが筋。
  - 桜修館 PTA にも協力してもらおう。
- ② 府立高、都大附高、桜修館三校同窓会の合併について  
旧制府立高 OB、桜修館同窓会および桜修館自治会との検討会を開催
  - 三校同窓会の一本化ができなかった経緯から「八雲が丘学友会」ができた。「八雲が丘学友会」を母体に、同窓会の統一ができないか。
  - 桜修館開校時の東京都の思惑とは別に、生徒の中で「自由と自治」の意識が受け継がれている。
  - 桜修館卒業生には、桜修館生としての自負や意識があるので無視できない。
- ③ 同窓会役員の改選について  
常務理事の増員、事務局体制の見直し  
来年の定期総会で理事長交代

以上